



フィルタリングの設定方法 ～「Webサイト」と「アプリ」の設定をする～

子供たちは、適切にスマホを取り扱えるだけの十分な知識・経験・判断力などを持ち合わせていない場合があります。特に低年齢の子供ほど、情報モラルの知識などが浅く、トラブルに巻き込まれる可能性があります。フィルタリングはこれらを補うために大変有効です。設定方法としては、「Webサイト」の利用と、「アプリ」の利用に対してそれぞれ行います。

1 Webサイトのフィルタリング方法

携帯電話会社には、利用者が18歳未満の場合（保護者が解除を申し出ない限り）フィルタリングの提供が法律で義務付けられています。Wi-Fiでもフィルタリングを有効にするには、スマホなどの契約時に以下サービスを申し込むことになっていますが、利用中の機器がサービスを受けているかどうか、あらためて確認しましょう。

NTT docomo の場合

spモードフィルタ、Web制限、キッズiモードフィルタ、iモードフィルタ

Webサイトや、iモードメニューサイトの閲覧制限が行えます。機種によって提供サービスが異なります。また、サービスによって子供の年齢などが考慮され、制限事項が異なります。Wi-Fi通信時の制限には「ファミリーブラウザ for docomo」があります。

au(KDDI) の場合

安心アクセスサービス、安心アクセス for Android™

年齢や用途に合わせたWebサイトのフィルタリングが行え、違法サイトやアダルトサイトなどをブロックできます。サービスの申し込みは、EZwebのお客さまサポート/オプションや、auショップで行えます。

SoftBank の場合

ウェブ安心サービス(フィルタリングサービス)

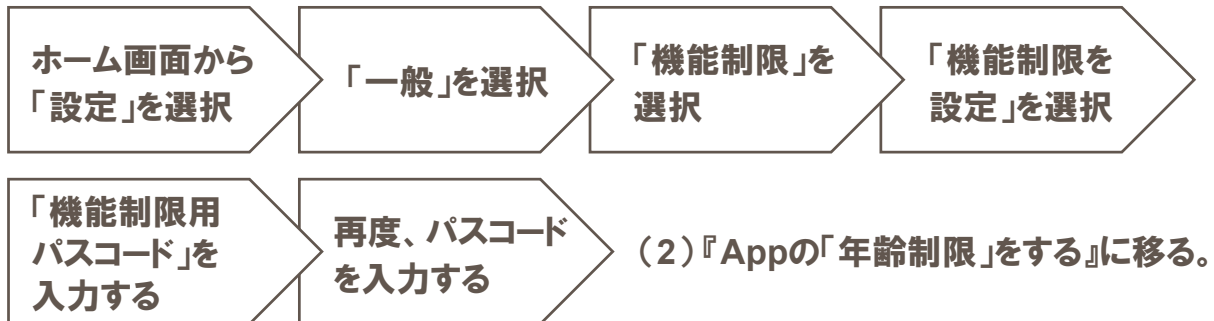
不適切なWebサイトへの年齢に応じたアクセス制限、有料コンテンツ購入時の暗証番号設定ができます。サービスの申し込みは、My SoftBank、ソフトバンクショップ、ソフトバンク製品取扱店で行えます。Wi-Fi通信時の制限には「Yahoo!あんしんねっと for SoftBank」などがあります。

2 アプリのフィルタリング方法

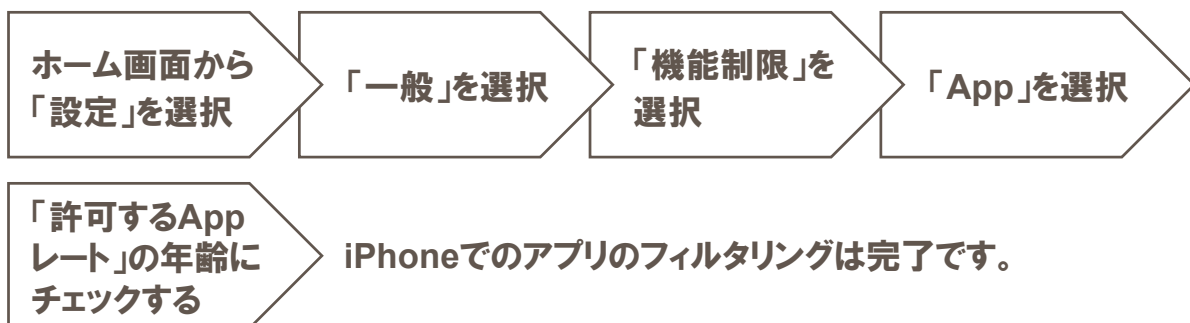
スマホのアプリは、Webサイトのフィルタリングでのコントロールはほとんどできないため、別途設定が必要です。設定方法はスマホのOS(基本ソフト)で異なるため、iPhoneとAndroid端末でご紹介します。

iPhone の場合

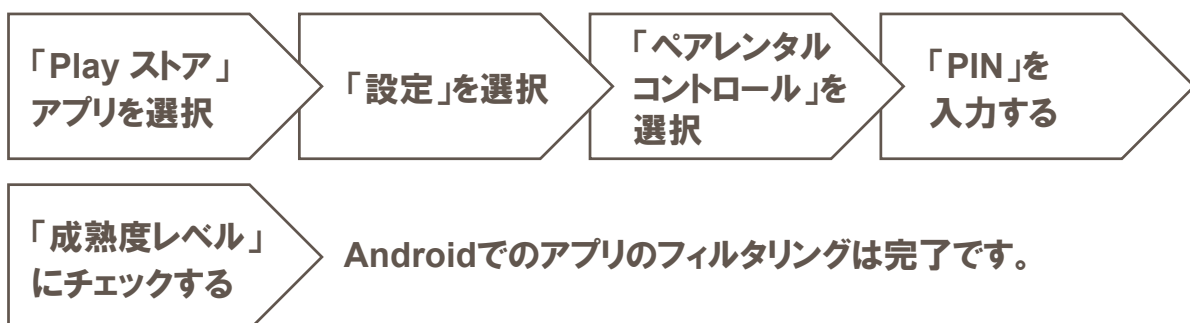
(1)「機能制限」を行う



(2) Appの「年齢制限」をする ※Appは、iPhoneのアプリのことをいいます。



Android の場合



Web(携帯電話会社の電波 & Wi-Fi)とアプリ、フィルタリングの設定で適切な利用環境を！